

社会科学習指導案

日 時 令和〇年〇月〇日 (〇)

第5校時 13:30~14:15

対 象 第3学年1組 28名

学校名 小学校

授業者 〇〇 〇〇

会 場 教室

1 単元名 「板橋区のうつり変わり」(わたしたちの板橋)

2 単元の目標

交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、聞き取り調査をしたり地図などの資料で調べたりして、年表などにまとめ、それらの変化を考え、表現することを通して、区や人々の様子は、時間の経過に伴い、移り変わってきたことを理解できるようにする。

3 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
①板橋区や人々の生活の様子は、時間の経過に伴い、移り変わり、発展してきたことを理解している。 ②聞き取り調査をしたり地図などの資料で調べたりして、絵年表などにまとめている。	①交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、問いを見出し、板橋区や人々の生活の様子を捉え、それらの変化を考え、表現している。 ②板橋区の少子化や高齢化、国際化についての課題を把握し、区の将来の姿について考え、説明したり、話し合ったりしている。	①自分たちの住んでいる板橋区の移り変わりについて関心をもち、問題解決への見通しをもって主体的に学習問題を追究、解決しようとしている。 ②板橋区が今後どのように発展していくかを考え、学習したことを社会生活に生かそうとしている。

4 指導観

(1) 単元観

本単元は、小学校学習指導要領(平成29年7月告示)社会第3章1節社会第3学年の目標(1)、(2)、(3)及び内容(4)に基づいて設定した。

目標

社会的事象の見方・考え方を働かせ、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

- (1) 身近な地域や市区町村の地理的環境、地域の安全を守るための諸活動や地域の産業と消費生活の様子、地域の様子の移り変わりについて、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。
- (3) 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。

内容

- (4) 市の様子の移り変わりについて、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
- ア 次のような知識及び技能を身に付けること。
- (ア) 市や人々の生活の様子は、時間の経過に伴い、移り変わってきたことを理解すること。
- (イ) 聞き取り調査をしたり地図などの資料で調べたりして、年表などにまとめること。
- イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。
- (ア) 交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、市や人々の生活の様子を捉え、それらの変化を考え、表現すること。

本単元では、交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いに着目し、聞き取り調査をしたり地図などの資料で調べたりして年表などにまとめ、区の人々の生活の様子やそれらの変化を考えることで、区やそこに住んでいる人々の生活の様子が時間の経過に伴い、移り変わってきたことを理解できるようにすることをねらいとしている。区の人口、交通、土地利用、公共施設、生活の道具の観点から、それぞれ板橋区のできたころ（昭和7年～22年）、人口が増えたころ（昭和47～52年）、現在（平成30年）の様子を調べ、3つの時期の様子を年表に位置付けることにより、それぞれの様子には時期による違いがあることに気付かせる。調べたことを年表にまとめることにより、区の様子の大まかな移り変わりを捉えることができるようにする。

(2) 児童観

本学級の児童を対象に実態調査のアンケート（令和2年9月実施）を行ったところ、92%の児童が「学習問題を解決するために、進んで調べたり考えたりしている」と答えた。資料から分かることを進んで調べ、ノートに詳しく記述する姿や、自分の気付きや考えを嬉しそうに友達に伝えたり発表したりする児童の姿が多く見られる。また、92%の児童が「学習問題や学習計画を意識して学習をしている」と答えている。毎回の授業の冒頭で学習計画を確認し、振り返りシートでは一人一人が学習問題の達成度を確かめていることで、本時のめあてに沿った「まとめ」や「振り返り」を行える児童が増えてきたと考えられる。

本単元は、「歴史と人々の生活」という区分に該当する。児童は歴史的な内容の学習は今回が初めてである。児童が学習対象をより身近に感じ、意欲的に学習問題への意識をもてるよう、学習問題の設定場面で児童の興味を惹きつける資料を提示する。さらに、資料を見た児童の呟きや考えを生かし、児童の思考を学習問題に集約し、児童がより主体的に問題解決的な学習を進めていけるようにする。また、本校には地域住民により寄贈された昔の道具が展示されている「むかし館」がある。本施設の見学を通して、馴染みのない昔の道具の使い方も実感させていく。

(3) 教材観

これまでの社会科では、区の様子（地理的環境や地域の産業、地域の人々の安全を守る活動）について学んできたが、本単元は自分たちの住んでいる区の様子を歴史の視点から捉え、区に対する理解と関心を深めていく。その際、区の人口、交通、土地利用、公共施設、生活の道具の5つの視点で調べさせ、これらは時期による違いがあるという歴史的な見方を養うようにする。

また、時間的・空間的な視点から視野を広げる資料として、地図や年表を使用する。時間的な視点では、時代区分の表、板橋区の年表を用い、空間的な視点では、板橋区の交通地図、土地の使われ方地図、小学校と公共施設の分布図を用いていく。

単元の指導計画においては、「つかむ」の段階において、生活の様子が描かれた絵を比較したり、生活に使われてきた道具の移り変わりを調べたりすることで、くらしの変化の様子をつかませる。次に、学区周辺周辺の町並みの写真を出会いの資料として提示する。学区周辺が時代の経過によって変化していることに気付かせた上で、航空写真や街道沿いの街並みの様子の写真を基に、「区全体のまちの様子も変化しているのではないか」という疑問を児童にもたせ、学習問題を立てていくようにする。学習問題の予想では、板橋区の人口のグラフと板橋区の年表を使用し、学習計画の作成につなげていくようにする。

「調べる」の段階においては、「板橋区の様子」の学習を想起させながら、交通、土地利用、小学校の数、公共施設の移り変わりを調べさせる。人口の変化を先に調べることで、以後の観点を調べる際には、人口の変化と関連付けながら、変化の様子を表現できるようにする。

「まとめる」の段階において、これまでに学習した内容を踏まえて絵年表を作り、学習問題に対する自分の考えをまとめる。年表にまとめる作業は児童が取り組みやすいようにするため、学習したことを絵カードにして古い順に並べて年表に貼り付け、そこに調べて分かったことを追記する形をとる。

「生かす」の段階において、未来の板橋区について、主に高齢化や国際化の視点から、これからの区の発展について考え、区の未来の姿の予想や自分の願いを表現できるようにする。その際、持続可能な開発目標（SDGs）とも関連付け、よりよい社会にしていくために今区民の生活にかかわる課題になっていることをつかませ、自分にできることは何かを考えさせていく。そして、話し合ったことを区役所の人に発信していく。これらの活動を通して、自分たちが住む区の発展に関心を持ち続けていってほしいと願っている。

5 年間指導計画における位置付け

	小単元名	時数
1 学期	板橋区の様子	18 時間
	工場の仕事	10 時間
2 学期	商店の仕事	10 時間
	火事から地域の安全を守る	10 時間
3 学期	事件や事故から地域の安全を守る	9 時間
	板橋区のうつり変わり	13 時間

6 小単元の指導計画と評価計画（全 13 時間扱い）

時	目標	○学習活動 ・予想される児童の反応	◆評価基準 (評価方法)
第 1 3 時	板の家の中の様子や生活の道具を現在と比べることを通して、人々の生活の様子や生活の道具が変化していることを理解する。	<p>○昔と今の家の中の様子を表したイラストを基に、気付いたことや疑問に思ったことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火を起こして、調理をしている。 ・昔は洗濯機がなく、手洗いしている。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>道具が変わると、人々の生活の様子がどのように変わっていくのだろうか。</p> </div> <p>○むかし館の見学や資料を基に、道具の使い方や特徴、道具の移り変わりを調べ、道具年表にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ローラー洗濯機はローラーを回して脱水する。 ・かまどで調理をしていたのが、コンロに鍋をおくようになり、今では IH を使っている家もある。 <p>○人々の生活の変化について考え、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔はすべて手作業で家事をしていたので、大変だ。 ・火を使う道具から電気を使う道具に変わったことで、生活が便利になった。 	<p>◆アー① 人々の生活や使用する道具の移り変わりを調べ、理解している。 (発言、絵年表記)</p>

		<p>○学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道具が移り変わったことで、生活も便利になってきた。 	述の分析)
第4時 (本時)	板橋区の昔と今の写真を比較し、板橋区の移り変わりについて調べるための学習問題をつくる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">昔と今のまちの様子を写真をもとに、疑問に思ったことから、学習問題をつくろう。</div> <p>○昔と今の小竹向原駅前の写真を見比べて、気付いたことや疑問に思うことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔は田や畑しかなかったのに、今は家がたくさんある。 ・人がほとんどいなかったのに、今の駅前には賑やかだ。 <p>○昔と今の板橋区の交通や土地利用の様子を表す写真を基に、気付いたことや疑問に思ったことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・板橋区全体で昔は田畑が多かったのに、今は住宅がたくさん建っている。 ・ビルや店が建ち、車がたくさん通っている。 ・その他にも変わっていることがありそうだな。 <p>○学習問題を立てる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">板橋区のまちの様子は、どのようにうつり変わってきたのだろう。</div> <p>○学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・板橋区のまちの様子は、駅の様子も土地の使われ方も、90年前と比べて大きく変わっている。どのように変わってきたのかもっと知りたい。 	<p>◆イー① 交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、問いを見出して学習問題を立てている。 (発言、ノート記述の分析)</p>
第5時	板橋区の移り変わりについて学習問題の予想をして、学習計画を立てる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">人口のグラフをもとに、学習問題の予想をして、学習計画を立てよう。</div> <p>○板橋区の人口の変化についてグラフを基に調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の人口は50万人を超えている。 ・戦争が終わった20年間で一気に人口が増えた。 <p>○第1単元や前時までで使用した資料や、年表を使って、区の様子が変わったのかを予想する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口が増えて家や店、鉄道や道路がつくられたのかな。 ・子どもが増えて、小学校や公共施設も増えたのかな。 <p>○再度、個人で予想をする。</p> <p>○学習問題を解決するために調べることを整理し、学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通 ・土地利用 ・小学校 ・公共施設 <p>○学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区の人口は戦後の20年間で一気に増え、現在は50万人を超えている。 	<p>◆ウー① 自分たちの住んでいる板橋区の移り変わりについて、資料をもとに予想し、学習計画を立てている。 (発言、ノート記述の分析)</p>
第6時	写真や地図資料を読み取り、板橋区の交通の移り変わりについて、理解する。	<p>○中山道と東武東上線の昔と今の写真を見て、気付いたことを話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">鉄道や道路は、どのように広がってきたのだろう。学習問題の予想を考え、学習計画を立てよう。</div> <p>○3枚の交通地図を基に、鉄道や主な道路がどのように広が</p>	

		<p>ってきたのか調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・板橋区のできたころは、鉄道も2つしかなかった。 ・人口が増えたころに、鉄道の種類が増えたり、区間がのびたりした。 ・大きな道路や高速道路が多くつくられた。 ・今は、さらに交通が便利になっている。 <p>○学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・板橋区では区ができた頃と比べて、鉄道の種類が変わったり、区間がのびたり、主な道路や高速道路ができたりして、交通網が発達した。 	<p>◆アー① 板橋区の鉄道や道路の様子が変わったことについて理解している。 (発言、ノート記述の分析)</p>
第7時	<p>写真や地図資料を読み取り、板橋区の土地利用の移り変わりについて、理解する。</p>	<p>○板橋区ができたころと今の土地の様子を比べて気付いたことを話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>板橋区の土地の使われ方は、どのようにうつり変わってきたのだろう。</p> </div> <p>○3枚の土地利用図を基に、土地の使われ方がどのように変わってきたのか調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区の北や西はほとんどが田や畑。東には工場が多い。 ・人口が増えたころに、住宅や店、工場が増えた。 <p>○調べて気付いたことを話し合い、土地の使われ方が変化した理由を人口や交通の変化と関連させて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通が発展し、便利になったことから、人がたくさん移り住んできて、住宅や店が増えた。 <p>○学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・板橋区では、区ができた頃と比べて、田畑が減り、住宅や店が増え、土地の使われ方が変わった。 	<p>◆アー① 板橋区の土地利用が変化したことについて理解している。 (発言、ノート記述の分析)</p>
第8時	<p>写真や地図資料を読み取り、板橋区の小学校数の移り変わりについて、理解する。</p>	<p>○板橋区ができたころと今の小学校の写真を比べて、気付いたことを話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>板橋区の小学校の数は、どのようにうつり変わってきたのだろう。</p> </div> <p>○小学校の分布図を基に、小学校の数の変化を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・板橋区ができたころは、小学校がほとんど無かった。 ・人口が増えたころに、区全体に小学校が建てられた。 ・閉校してしまった小学校もある。 <p>○小学校が多く建てられた時期を調べ、その理由を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通が便利になり、人口が増えたから。 <p>○学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・板橋区では、人口が増えたころに、小学校の数が一気に増え、場所も区内全体に広がったが、統廃合して閉校した小学校もある。 	<p>◆アー① 板橋区の小学校の数が変化したことについて理解している。 (発言、ノート記述の分析)</p>

第9時	写真や地図資料を読み取り、板橋区の公共施設の移り変わりや公共施設の役割について、理解する。	<p>○板橋区ができたころと今の区役所の写真を比べて、気付いたことを話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">板橋区の公共施設はどのように<u>うつり</u>変わってきたのだろう。</div> <p>○公共施設の分布図を基に、公共施設の数がどのように変化してきたかを調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口が増えたところにたくさんつくられが、今はさらに公共施設がたくさんつくられている。 <p>○資料を読み、公共施設が増えてきた理由を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口が増えて区民のための施設が必要になったから。 ・公共施設は地域の人の願いを受けてつくられている。 <p>○学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔は公共施設が少なかったが、人口が増えて公共施設が必要になったので、たくさんつくられた。 ・公共施設は、地域の人の願いを受けてつくられ、税金で運営されている。 	◆アー① 板橋区の公共施設の数が増えたことや公共施設の役割について理解している。 (発言、ノート記述の分析)
第10時・11時	これまでの学習を絵年表にまとめ、学習問題に対する自分の考えを書く。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">絵年表にまとめ、学習問題に対する自分の考えを書こう。</div> <p>○絵カードを並び替えて、人口、交通、土地利用、小学校、公共施設がどのように変化してきたかを整理する。</p> <p>○カードを絵年表に貼り、説明を追記する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口が増えたことで、交通や土地の様子が変化した。 <p>○年表から学習問題に対する自分の考えを書く。</p>	◆アー② 板橋区の移り変わりについて、調べてきたことをもとに、まとめている。 (絵年表、ノート記述の分析)
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 0 auto; width: 80%;"> <p>板橋区は、戦争が終わってから20年間で、人口がぐんと増えた。人口が増えてきたことで、住宅や店が増え、多くの鉄道や道路、小学校や公共施設がつくられて、暮らしが便利になった。また、道具も移り変わったことで、人々の生活の様子も便利になった。</p> </div>			
第12時・13時	板橋区の抱える課題を理解し、これからの板橋区がどのように発展していくか考え、表現する。	<p>○板橋区の抱える課題やSDGsについて知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・板橋区の高齢者が年々、増えている。 ・板橋区に住む外国人も増えている。 ・SDGsには17個の開発目標があり、自分たちにできることを考えていかないといけない。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">これからの板橋区の未来の姿を考えよう。</div> <p>○板橋区が大切にしていることを知り、これからの板橋区がどのようになってほしいか考え、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や外国人が安心して暮らせる区にしたい。 ・子どもを預かってくれるところや、子どもが安心して遊べる場所が多い区にしたい。 <p>○未来の板橋区の姿を、絵年表に書き込む。</p> <p>○板橋区への願いを区役所の人に発信する。</p> <p>○学習の振り返りをする。</p>	◆ウー② 板橋区の今後の発展を考え、学習したことを社会生活に生かそうとしている。 (発言、ノート記述の分析) ◆イー② 板橋区の課題を把握し、区の将来の姿について考え、表現している。 (発言、絵年表の記述の分析)

7 指導に当たって

班テーマの「児童が社会的事象を主体的に学ぶための指導の工夫」を踏まえ、以下のような手立てを講じる。

(1) 児童の疑問を引き出し、学習問題につなぐ「プラス1」の資料の提示

児童に社会的事象を主体的に学ばせるためには、単元を通して明らかにしていく学習問題が児童の強い追究意欲から生まれたものでなければならない。そのためには、単元の導入の段階で取り上げる社会的事象に対して、確かな事実認識をもたせる資料とともに、どうしても明らかにしなければならないという思いを伴った、質の高い疑問を生ませる「プラス1」の資料が大切になると考えた。本単元では、第1時から第3時までで道具の変化を中心に学習して、児童は人々の生活が変化していることを捉える。第4時では、暮らだけでなく、学区の街並みも変化していることに目を向けていく。その上で「プラス1」の資料として、交通と土地利用の様子が劇的に変化した資料を提示する。児童は板橋区全体の様子も変化したことに気づき、資料と資料の年代の間にはどのようなことがあったのか疑問をもつことができると考えた。「プラス1」の資料の提示により、学習問題につながる疑問をもたせ、児童の意識を学習問題へと集約させていく。

(2) 児童の追究意欲を高める学習問題の予想の練り上げ

児童が主体的に学習を進めていくためには、問題解決に向けて意欲を高めていくことが重要であると考えた。そのため、板橋区の昔の写真を基に学習問題に対する予想を考える段階で、児童同士が互いの考えを述べ合うようにした。そのことにより「誰の予想が正しいのか、早く確かめたい」と児童の問題解決への意欲が高まっていくと考えた。発言の根拠を明確にしなが、学習問題の予想についてクラス全体で話し合った後、他の児童の意見も取り入れながら、再度個人で予想を吟味して、予想の質を高めていくようにする。また、学級での予想を整理して学習計画を作成していくようにする。

(3) 主体的な学びの実現のための振り返り

毎時間の学習で、振り返りシートの「参考になった友達の考え」・「次に調べたいこと」・「自分の予想と比べたこと」の3観点から選んで表現し、どのような姿勢で学びに向かったのかを俯瞰できるようにする。また、単元を通して自らの学習を調整しようとする側面が育つように工夫する。学習問題がどの程度解決したか、振り返りシートに可視化し、問題解決に向けた現在の達成状況を自分なりに表現させたい。その進捗状況を適宜、友達と交流することで、なぜその位置なのかを説明できるようにする。

8 本時（全13時間中の第4時）

(1) 本時の目標

板橋区の昔と今の写真を比較し、板橋区の移り変わりについて調べるための学習問題をつくる。

(2) 本時の展開

時間	○学習内容 ・児童の反応	☆指導上の留意点 ※資料	◆評価規準 (評価方法)
導入 15分	○前時の振り返りをする。 ・道具が移り変わってきた。 ・人々の生活も移り変わって便利になった。	※前時で使用した資料	
	昔と今のまちの様子の写真を基に、疑問に思ったことから、学習問題をつくらう。		

	<p>○昔と今の小竹向原駅前の写真を見比べて、気付いたことや疑問に思うことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔は田や畑しかなかったのに、今は家がたくさんある。 ・地下鉄有楽町線が今は通っている。 ・今の駅前が賑やかだ。どうしてこんなに変わったのかな。 	<p>※板橋区ができた頃、有楽町線が通った頃、現在の駅前の街並みの写真</p>	
展開 25分	<p>○昔と今の板橋区の交通や土地利用の様子を表す写真を基に、気付いたことや疑問に思ったことを考え、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・板橋区全体で昔は田んぼや畑が多かったのに、今では住宅がたくさんある。 ・昔の川越街道の周りには何もなかった。 ・今の川越街道は、車がたくさん通っている。 ・いつごろから、店やビルが建ったのかな。 ・板橋区全体の様子も変わっていきそうだな。 <p>○学習問題を立てる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>板橋区のまちの様子は、どのように移り変わってきたのだろう。</p> </div>	<p>※昭和20年代、現在の航空写真</p> <p>※昭和20年代、現在の川越街道の様子を表した写真</p> <p>☆2つの写真の年代の間に何があったのか予想させる。</p> <p>☆年号の表記に慣れない児童もいるので、○年前と分かりやすく表す。</p>	<p>◆イー① 交通や公共施設、土地利用などの時期による違いに着目して、問いを見出して学習問題を考え、表現している。 (発言、ノート記述の分析)</p>
まとめ 5分	<p>○学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・板橋区のまちの様子は、駅の様子も土地の使われ方も、90年前と比べて大きく変わっている。どのように変わってきたのか、もっと知りたい。 <p>○次時の予告をする。</p>	<p>☆板橋区全体の変化にも目を向けられるよう、声を掛ける。</p>	

(3) 板書計画

④昔と今のまちの様子の写真をもとに、疑問に思ったことから、学習問題を立てよう。

<小竹向原駅のまわり>

約70年前 の写真	約40年前 の写真	現在 の写真
--------------	--------------	-----------

田や畑ばかり 家はほぼない 人が少ない
有楽町線の工事 道路ができた 小学校がある
人が多い 店やビルが多い 車もたくさん通る
駅まわりに建物 にぎやか

<板橋区全体の様子>

昔の航空 写真	今の航空 写真
昔の川越街 道の写真	今の川越街 道の写真

昔：田んぼや畑が多かった。
今：マンションや家が多い。
土の道路からアスファルトの道路になっている。
車がたくさん通っている。
いつ店やビルが建てられたのか。

〈ふりかえり〉
板橋区のまちの様子は、駅の様子も土地の使われ方も、90年前と比べて大きく変わっている。どのように変わってきたのか、もっと知りたい。

学習問題：板橋区の様子はどのように移り変わってきたのだろう。

(4) 授業観察の視点

- ア 学区域周辺の街並みの様子の変化に加えて、プラス1の資料として提示した区全体の急激な変化に関する資料は、区の移り変わりに関する児童の主体的な調べ学習を促す上で効果があったか。
- イ 学習問題づくりの時間における振り返りシートを基にした児童相互の交流は、問題解決的な学習のスタートの段階での互いの課題意識を確認でき、調べ学習への意欲の喚起につながったか。